

剣 道

1 参加規定

- (1) 第34回愛媛県中学校新人体育大会兼第15回愛媛県中学校新人アスリート強化育成大会競技別・地区別出場数基準による。
- (2) 個人戦：各地区男女代表者
- (3) 団体戦：各地区男女代表チーム（正員5名、補員2名以内とする。）

2 競技方法

- (1) 第1日：個人戦 ， 第2日：団体戦
- (2) 試合はトーナメント方式で行う。個人戦組合せは、中体連剣道競技規定（地区順位の照らし合わせ）により、本部で決定する。

3 競技規定

- (1) 試合は、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則並びに細則及び暫定的な試合・審判法、日本中体連剣道競技部申し合わせ事項によって行う。試合は、3分間3本勝負とする。時間内に勝敗が決しない場合は、団体戦は引き分け、個人戦は勝敗が決しない場合は2分ごとの延長戦を、勝敗の決するまで行う。
- (2) 団体戦は、延長を行わない。勝者数、本数ともに同数の場合は3分間1本勝負の代表者戦を行う。時間内に勝敗が決しない場合は、2分ごとの延長戦を、勝敗の決するまで行う。
- (3) 延長戦における休息等は以下の通りとする。
試合時間3分⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止（深呼吸をする程度）】
⇒延長2分⇒延長2分⇒【面を外しての休息・給水（3分）】
⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止（深呼吸をする程度）】
⇒延長2分⇒延長2分⇒【面を外しての休息・給水（3分）】⇒試合の続く限り繰り返す
- (4) 選手は、鏝競り合いをしない試合を心がけさせる。やむを得ず鏝競り合いとなった場合はただちに分かれるか引き技を出す。「鏝競り合いの解消」とは、お互いに間合い（竹刀が交わらない距離）を完全に切る。解消されない場合は審判員が「分かれ」、或いは状況により「止め」をかける。
- (5) 試合途中でも体調不良を感じた「本人」、あるいは競技者の様子に異変を感じた「監督」は、主審に対して試合の中断を申し出ることができる。その場合、状況に応じて面を外し水分補給ができる。
- (6) 登録選手は、申し込み後の変更を認めない。
- (7) 登録選手として申し込みのない者は、正員の位置に入れることはできない。
- (8) 団体戦では、一度補員と交代した者は再び選手として出場することはできない。
- (9) 選手席に入れる者は、登録選手、監督のみとする。監督は監督証を着用する。【外部指導者（コーチ）は選手席に入ることはできない。】
- (10) 校名・校章等の刺繍（剣道着・袴）は、大きさ、色を含めて華美にならないように配慮する。また、剣道着袖口に学校名以外の名前の刺繍が入っている剣道着の着用は認めない。（関係のないワッペン等の着用も認めない。）
- (11) 垂れに、学校名『～中・～中等』（横）、姓（縦）が記入してある黒または紺色の布地の名札を着用する。
- (12) 面皮革は、大きさ、色、模様を含めて華美にならないように配慮し、色は黒色または紺色とする。面紐の長さは、結び目より40cm以内とする。
- (13) 面金は、通常の配色のものとする。（通常の配色とは、面金前部が銀色、面ぶち革の色が外側黒、内側朱のもの。）アイガード・ポリカーボネット面は認める。

- (14) 選手は試合および練習において「面マスク」と、面内に装着する「シールド」の着用を必須とする。
- (15) 竹刀は男女とも 114cm 以下とし、竹刀の先部の直径は男子 25mm 以上、女子 24mm 以上でなければならない。また、先革の長さは 50mm 以上とし、ちくとう最小直径男子 20mm 以上、女子 19mm 以上とする。重さは男子 440g 以上、女子 400g 以上とする。化学繊維竹刀の使用は認める。弦の色は、白・黄・紫のみとする。事前に柄革に学校名と氏名を記入し、他の大会の合格シール等ははがしておくこと。
- (16) 柄革は、滑り止めや模様等のない無地のもので、白色とする。
- (17) 鏢の大きさは、直径 9 cm 以下とし、色は革色のもの（白色可）を使用する。（絵付きのものは着装の状況による。）
- (18) サポーター等（足袋、テーピング、コルセットを含む）の使用については、医療上必要と認められた場合に限り認める。使用する場合は、試合開始までに各審判主任に届け出ること。サポーター等は、肘、膝などに付けるもののかかどに付けたりゴムや革及び滑り止めを底に貼った物の使用を禁止する。（相手に危害を与える、公正さを欠くという観点から。）指先単独でのテーピングは、届け出は不要。届け出と違う物を使用した場合は替えさせる。
- (19) 上段の構えはとらせない。隻腕については、その都度協議する。
- (20) 新型コロナウイルス感染防止に関する対応は、愛媛県中学校新人大会におけるグランドルールに準じて行う。
- (21) 開閉会式は行わない。

4 注意事項

- (1) 各校、各自、紅白の目印を持参する。
- (2) 各校、オーダー表を持参、当日の朝受付に提出のこと。（4 人の場合は次鋒抜き、3 人の場合は次鋒・副将抜き）
- (3) 当日、団体戦の正員の中で、怪我等で出場できなかつたり、欠席したりする可能性がある選手がいる場合は次鋒と副将に入れること。（出場できない可能性のある選手が 1 名の場合は次鋒に、2 名の場合は次鋒と副将に入れること。）

【オーダー表サイズ】

	12.3cm	12.3cm	12.3cm	12.3cm	12.3cm	12.3cm
17cm	学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将

- (4) 竹刀検量を行う。不正竹刀は大会終了まで本部にて預かる場合があります。

	1 日目	2 日目
場所	大洲市総合体育館柔剣道場	
時間	開館後 9 時 20 分まで（個人戦出場選手のみ）	開館後 9 時 30 分まで

※稽古中や試合中にシールが剥がれた場合は本部にて再度検量を行う。

5 その他

- (1) 審判・監督会議は、会議室にて 1 日目は 9 時 30 分、2 日目は 9 時から行う。
- (2) 2 日とも開館は 8 時、競技開始時間は、1 日目は 11 時、2 日目は 10 時とする。
- (3) 練習について

日付	11 月 12 日（金）（前日）	11 月 13 日（土）	11 月 14 日（日）
時間	16 時～18 時	開館～ 1 5 時	開館～ 1 4 時
場所	体育館アリーナ・2 階柔剣道場		